2025年10月14日 開示

夢中を育む。

株式会社イオンファンタジー

2026年2月期
第2四半期（中間期）決算補足資料

東京証券取引所プライム市場 ｜ 証券コード：4343

夢中を育む。
Aeon Fantasy

CONTENTS

2026年2月期第2四半期（中間期）決算補足資料

01 会社概要・沿革

02 連結決算概要

03 重点取り組み概要

04 連結業績予想

05 参考資料

© AEON Fantasy Co.,LTD.

夢中を育む。
Aeon Fantasy

2026年2月期第2四半期（中間期）決算補足資料

CONTENTS

01 会社概要

© AEON Fantasy Co.,LTD.

会社概要

COMPANY PROFILE

2025年8月末時点

商号	株式会社イオンファンタジー
所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
設 立	1997年2月14日
資本金	18億25百万円
主要株主	イオン株式会社 (60.48%)
上場市場	東京証券取引所　プライム市場
従業員数	7,772名（2025年2月末時点）
事業内容	「アミューズメント施設」及び「プレイグラウンド」の運営

© AEON Fantasy Co.,LTD.

PURPOSE

こどもたちの夢中を育み、“えがお”あふれる世界をつくる。

こどもと向き合うことは、未来の大人と向き合うこと。
すなわち、次の社会をつくることです。

だから私たちは、効率化や最適化だけではたどり着けない
こどもたちの“えがお”に、誰よりも真剣に取り組みたいと思うのです。

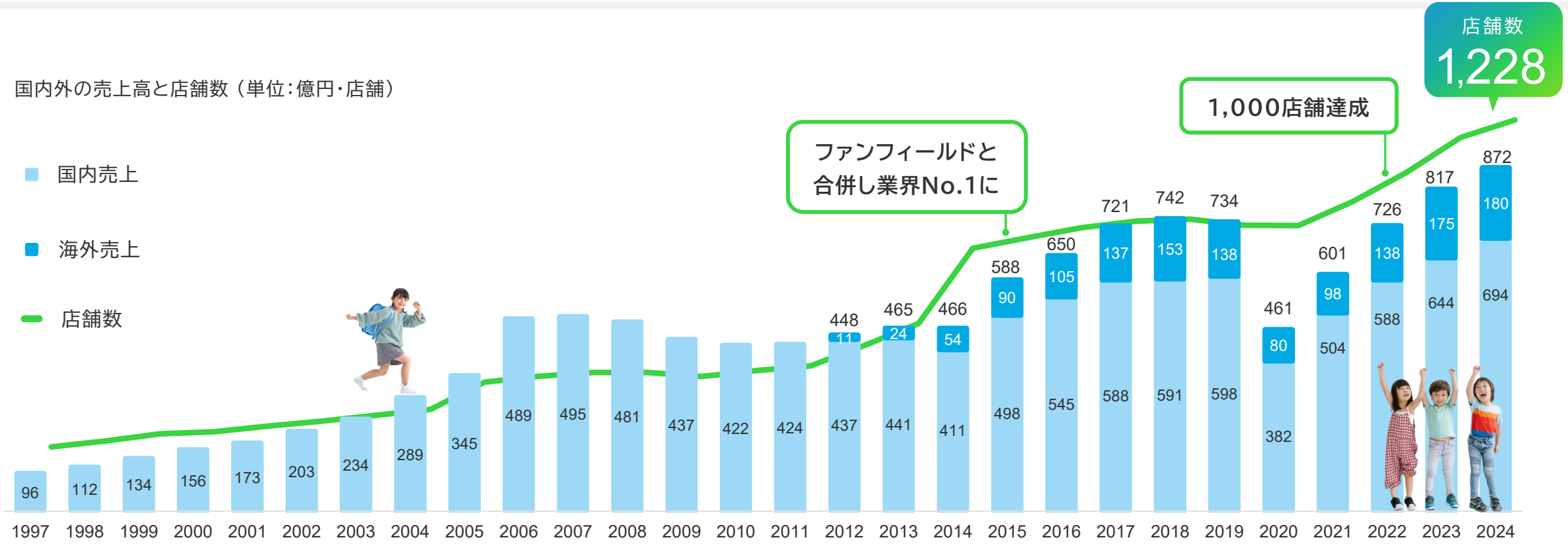
私たちの夢中が、こどもたちの夢中を育む。“えがお”あふれる世界をつくるために。

イオンファンタジーは、挑戦し続けます。

© AEON Fantasy Co.,LTD.

沿革 2026年2月期 第2四半期(中間期)

国内外の売上高と店舗数（単位:億円・店舗）



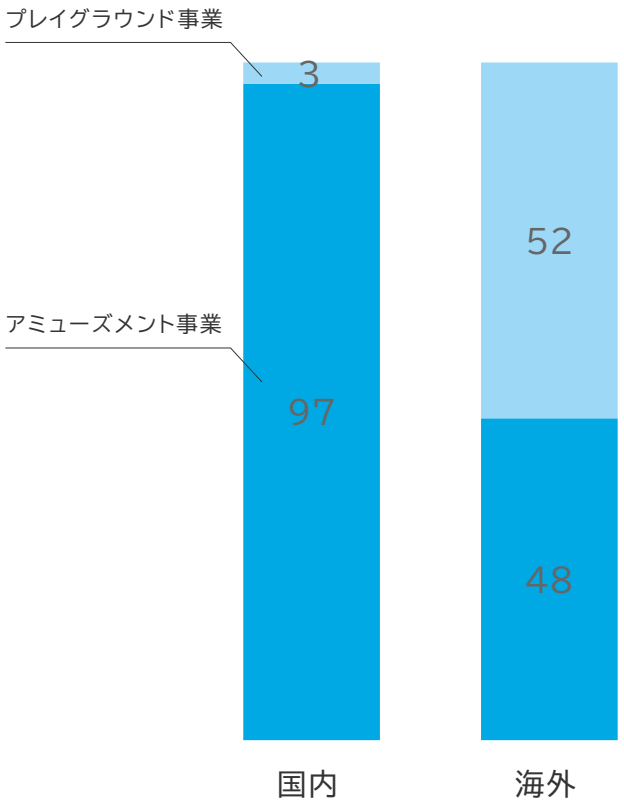
- 1997 会社設立
- 2000 モーリーファンタジー初出店
- 2002 マイカルクリエイトと合併
- 2004 東証一部上場
- 2005 中国進出
- 2006 キッズーナ初出店
- 2009 マレーシア進出
- 2011 タイ進出
- 2013 フィリピン・インドネシア進出
- 2015 F・フィールドと合併
- 2016 ベトナム進出
- 2018 カプセルトイ専門店初出店
- 2019 プライズ専門店初出店
- 2022 ちきゅうのにわ初出店

© AEON Fantasy Co.,LTD.

事業紹介（全体概要） 2026年2月期 第2四半期（中間期）

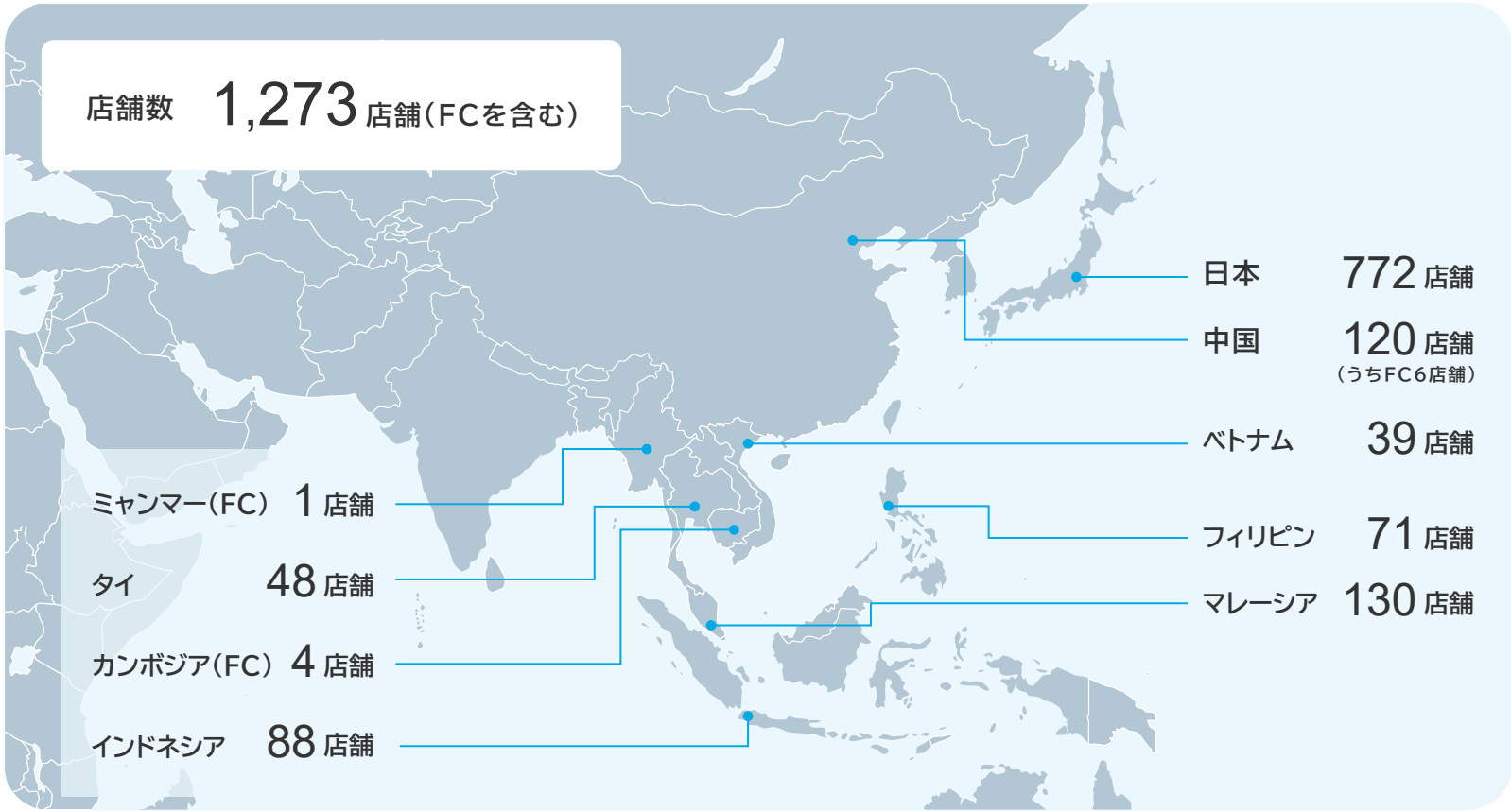
- 国内はアミューズメント事業、海外ではプレイグラウンド事業を中心に幅広く事業を展開

国別の事業構成比率（店舗数ベース）（単位：%）



※ その他事業が11店舗存在するが、上記グラフからは除外

国別店舗数（2025年8月末時点）

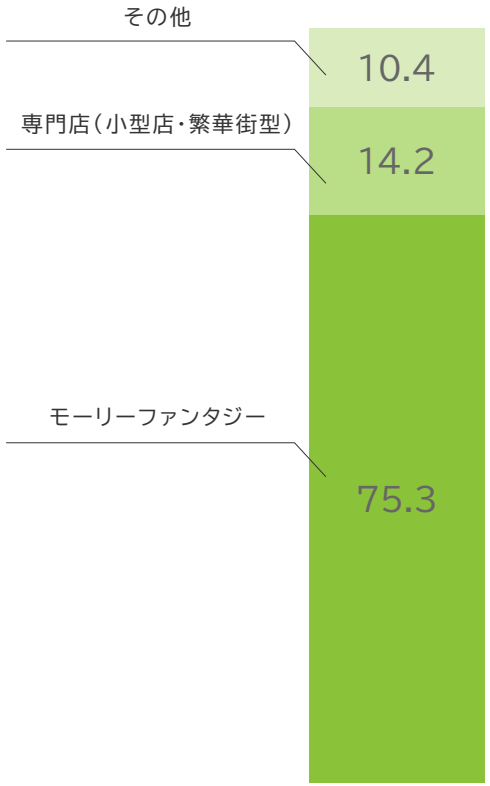


グローバルかつ様々な事業で、こどもの”えがお”があふれる世界の実現を目指す

© AEON Fantasy Co.,LTD.

● 【主力事業】アミューズメント事業　業態紹介

アミューズメント事業における業態別
売上構成比（単位：%）



アミューズメント事業の概要と分類

標準店

「モーリーファンタジー」は、お子さまたちがワクワクしてえがおが生まれるような、夢いっぱいの空間。「ララちゃん」をはじめ、オリジナルキャラクターは世界中で大人気。多彩な遊具や催しが家族のふれあいを彩ります。

専門店(小型店・繁華街型)

カプセル横丁　クレーン横丁

「TOYS SPOT PALO(トイズスポットパロ」や「PRIZE SPOT PALO(プライズスポットパロ)」は、少ない面積・低投資で出店できるカプセルトイやクレーンゲーム特化型の店舗です。駅ビルやモールの小区画にも柔軟に展開でき、投資回収が早く高効率な運営が可能です。また、繁華街に出店する横丁業態も出店しております。

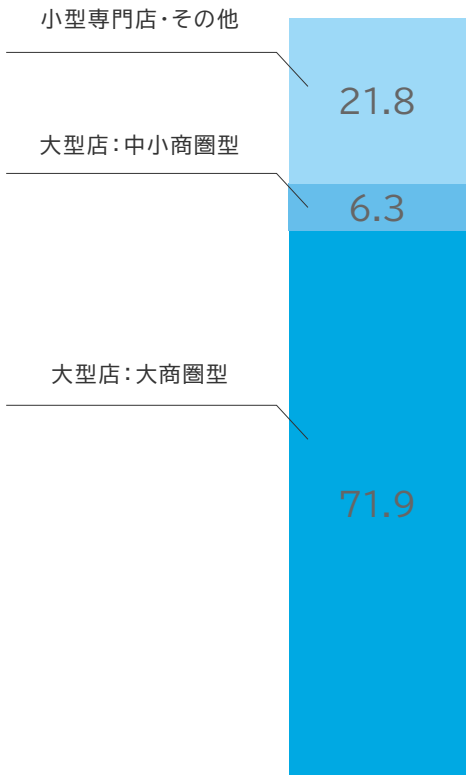
その他

「PALO(パロ)」は「自分らしい」あそびや楽しさを追求できるアミューズメントスペース。人気のゲームをプレイして楽しむだけでなく、ゲームを通じて生まれるコミュニケーションを楽しめる、みんなにとっての「自分たちの場所」を目指していきます。「モーリーファンタジーf」は幅広い層まで対応した家族みんなで楽しめるモーリーファンタジーです。

© AEON Fantasy Co.,LTD.

● 【成長事業】プレイグラウンド事業

プレイグラウンド事業における
業態別売上構成比（単位：%）



プレイグラウンド事業の概要と分類

大型店：大商圏型

ちきゅうのにわ

「ちきゅうのにわ」は、0歳の赤ちゃんから小学生までを対象に、子どもとファミリーが夢中で遊びながら地球の面白さや自然の大切さが学べるプレイグラウンドです。

大型店：中小商圏型

のびっこジャンボ　のびっこピクニック

体もこころものびのびあそびの楽しさ無限大！リーズナブルな料金でのびのびあそべる「のびっこジャンボ」は家族みんなの『えがお時間』が増えるプレイグラウンドです。「のびっこピクニック」は、リーズナブルな料金で屋内でもピクニック気分でのびのび遊べるプレイグラウンドです。

標準店・小型専門店

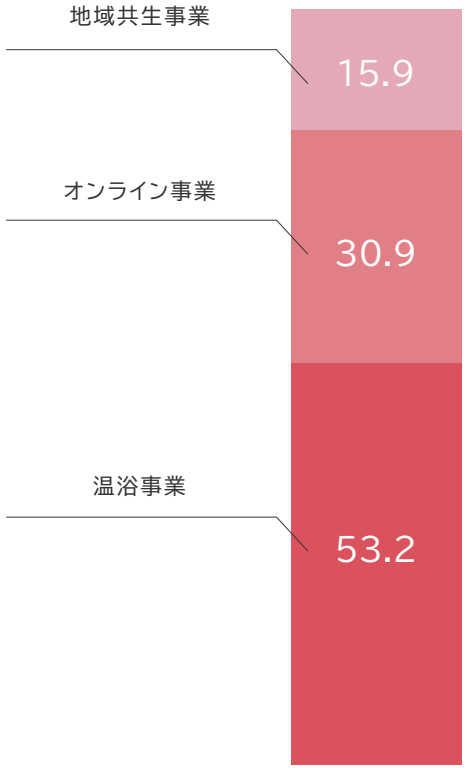
Aeon Fantasy kidzooona キッズーナ　SKIDS GARDEN スキッズガーデン

「キッズーナ」は、「お子さまの成長を育みながら、親子で安心して遊んでいただきたい」という思いのもと誕生しました。日本流のホスピタリティ、厳選した遊具、そしてお子さまの「創造性」「社会性」を育みながら親子で一緒に楽しめる体験が、世界のファミリーに愛されています。「スキッズガーデン」はお子さま一人であそべるプレイグラウンドです。親離れ、子離れがめばえる遊び場です。

© AEON Fantasy Co.,LTD.

その他　事業

その他事業における
売上構成比（単位：%）

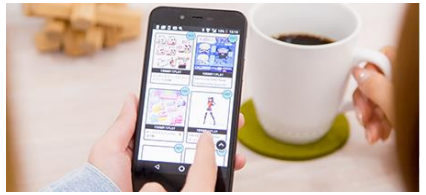


その他事業の概要と分類

温浴事業

「お湯のまわりを、“えがお”でぽかぽかに。」「OYUGIWA」は、露天に壺湯に本格ロウリュと、多彩なお風呂はもちろん、ボディケアや岩盤浴、おいしいご飯まで充実した温浴施設です。コミックや雑誌も読み放題です。

オンライン事業



「MOLLY.ONLINE（モーリーオンライン）」は、スマートフォンやパソコンからインターネットを使って24時間いつでもどこでも楽しめるオンラインクレーンゲームです。多彩なプライズをラインナップしています。獲得した景品は全国どこでも送料無料でお客さまにお届けします。

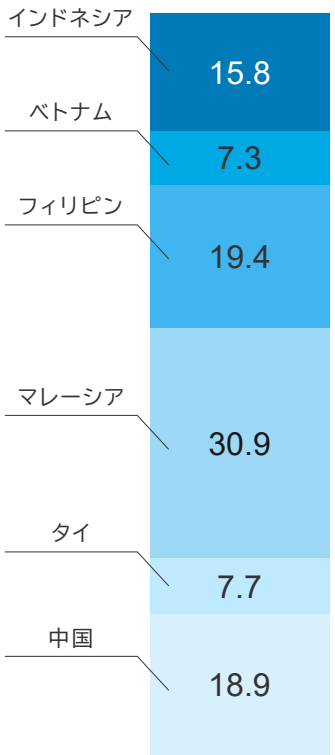
地域共生事業

「ミューの森」は、「森と川をあそぼう、物語をはじめよう。ここは、泊まれる冒険フィールド。」がコンセプトのエンターテインメント型グランピング施設です。

© AEON Fantasy Co.,LTD.

● 日本の“あそび”と“ノウハウ”を世界へ、プレイグラウンド事業・アミューズメント事業を展開

海外国別売上構成比
（単位：%）



海外事業の代表的な業態

		アセアン事業					中国事業
		インドネシア	ベトナム	フィリピン	マレーシア	タイ	中国
プレイグラウンド	大型	FANPEKKA / Kidzooona Safari / EDOKKO 江戸っち	FANPEKKA		Kidzooona Safari / FANPEKKA	Kidzooona Safari	FANPEKKA
	標準	kidzooona / KID'S BOX JUMBO	kidzooona	kidzooona	kidzooona / KID'S BOX JUMBO	kidzooona / KID'S BOX JUMBO	kidzooona
	小型	KID'S BOX by kidzooona	KID'S BOX by kidzooona	KID'S BOX by kidzooona	KID'S BOX by kidzooona	KID'S BOX by kidzooona	kidzooona TINY
アミューズメント	標準	mollyfantasy	mollyfantasy		mollyfantasy FANTAZIA	mollyfantasy	mollyfantasy
	小型	PRIZE SPOT PALO	tiny mollyfantasy		tiny mollyfantasy	tiny mollyfantasy	莫莉活力空间 家庭娱乐中心

© AEON Fantasy Co.,LTD.

夢中を育む。
Aeon Fantasy

CONTENTS

02 連結決算概要

© AEON Fantasy Co.,LTD.

連結業績ハイライト　2026年2月期 第2四半期(中間期)

- 売上高含め各段階利益ともに中間連結会計期間として過去最高
- 償却前営業利益は89億2百万円と前年同期より8億18百万円の増

売上高
46,624 百万円

前年同期比	106.2%
通期進捗率	50.6%

営業利益
3,630 百万円

前年同期比	126.5%
通期進捗率	49.7%

経常利益
3,418 百万円

前年同期比	169.7%
通期進捗率	**60.0%**

中間純利益
1,763 百万円

前年同期比	471.7%
通期進捗率	**70.5%**

償却前営業利益
8,902 百万円

前年同期比	110.1%
通期進捗率	-

(百万円)	2025年2月期 中間期	2026年2月期 中間期	前年同期差	前年同期比
売上高	43,920	46,624	2,704	106.2%
売上総利益(店舗利益)	6,403	7,106	702	111.0%
営業利益	2,870	3,630	760	126.5%
経常利益	2,014	3,418	1,403	169.7%
親会社株主に帰属する中間純利益	373	1,763	1,389	471.7%
EPS(1株あたり中間純利益)	+18.91円	+89.18円	+70.27円	471.5%
償却前営業利益	8,083	**8,902**	**818**	110.1%

© AEON Fantasy Co.,LTD.

セグメント状況 2026年2月期 第2四半期(中間期)

● 国内事業の売上高・営業利益が全体を牽引、中国事業は順調に改善

(百万円)	売上高		営業利益		
	2026年2月期中間期	前年同期比増減率	2026年2月期中間期	前年同期差	営業利益率
国内	37,759	+8.6%	3,903	**551**	**10.3%**
アセアン	7,296	+14.2%	381	△361	5.2%
中国	1,704	△40.5%	△ 653	**569**	-
連結 計	46,624	+6.2%	3,630	760	7.8%

連結
営業利益率7.8%と過去最高

国内
売上高・営業利益ともに2期連続で過去最高
営業利益率においても**10.3**%と過去最高

アセアン
売上高は4期連続で過去最高

中国
構造改革の実行により営業利益が前年同期より5億69百万円改善

※連結計には連結の際の調整額を含んで算出

© AEON Fantasy Co.,LTD.

連結貸借対照表 2026年2月期 第2四半期(中間期)

(百万円)	2025年2月期末		2026年2月期 第2四半期末		
	金額	構成比	金額	構成比	前期末比 増減額
流動資産	12,185	22.7%	19,776	30.6%	+7,591 ※
固定資産	41,488	77.3%	44,854	69.4%	+3,366
資産合計	53,673	100%	64,631	100.0%	+10,958
流動負債	30,758	57.3%	38,783	60.0%	+8,024 ※
(短期借入金・1年以内含む)	15,394	28.7%	21,549	33.3%	+6,155
固定負債	16,072	29.9%	17,277	26.7%	+1,204
(長期借入金)	10,540	19.6%	12,523	19.4%	+1,982
負債合計	46,831	87.3%	56,060	86.7%	+9,229
純資産合計	6,842	12.7%	8,571	13.3%	+1,728
負債純資産合計	53,673	100%	64,631	100.0%	+10,958

※ 当第2四半期期末における金融機関の休日による影響(48億59百万円)

© AEON Fantasy Co.,LTD.

連結キャッシュ・フロー　2026年2月期 第2四半期(中間期)

(百万円)	2025年2月期 中間期	2026年2月期 中間期	前期比増減額
営業活動キャッシュフロー	+2,581	+3,429※	+847
税金等調整前当期純利益	+1,629	+3,106	+1,476
減価償却費	+5,213	+5,271	+58
売上預り金の増減額(△は増加)	△4,570	△4,856	△285
法人税等の支払額	△891	△1,036	△145
投資活動キャッシュフロー	△4,945	△7,919	△2,974
有形固定資産取得による支出	△4,397	△7,429	△3,032
財務活動キャッシュフロー	+2,213	+6,492	+4,278
短期借入金の純増減額	△6,920	+5,307	+12,228
長期借入金の純増減額	+10,841	+2,752	△8,088
配当金の支払額	△98	0	+98
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	+12	+23
現金及び現金同等物の増減額	△160	+2,014	+2,174
現金及び現金同等物の期首残高	+7,491	+6,141	△1,350
現金及び現金同等物の期末残高	+7,330	+8,155	+824

※ 当中間期末の金融機関による影響(38.0億円)を加味すると実質72.3億円のキャッシュを創出

© AEON Fantasy Co.,LTD.

店舗数（詳細一覧）

2026年2月期 第2四半期(中間期)

- 新店154店舗、閉店109店舗　2025年8月末時点の店舗数は1,273店舗

（店舗）	アミューズメント		プレイグラウンド			その他	FC	当期合計	当期	
	標準店	小型店	大型店	標準店	小型店				新店	閉店
日本	414	323	18	3	3	11	0	772	52	33
アセアン	66	86	10	159	55	0	5	381	64	15
インドネシア	3	34	5	40	6	0	0	88	38	0
ベトナム	8	6	1	15	9	0	0	39	2	3
フィリピン	0	0	0	56	15	0	0	71	6	1
マレーシア	54	31	3	27	15	0	0	130	9	11
タイ	1	15	1	21	10	0	0	48	9	0
カンボジア	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0
ミャンマー	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
中国	24	55	5	28	2	0	6	120	38※	61
合計	504	464	33	190	60	11	11	1,273	154	109
事業合計	968		283							

※ 中国の出店は主に出店リスクの少ない小型店「莫莉活力空間」

© AEON Fantasy Co.,LTD.

夢中を育む。
Aeon Fantasy

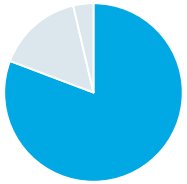
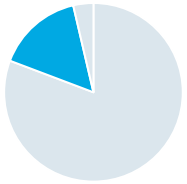
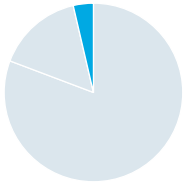
CONTENTS

03 重点取り組み概要 トピックス

© AEON Fantasy Co.,LTD.

セグメント別トピックス

2026年2月期 第2四半期(中間期)

	売上構成	位置付け	重点戦略	取り組み
国内	 売上構成比 81%	安定収益創出と成長拡大の両立	業態開発	• 新業態開発(「のびっこジャンボ」・「Feedy」等)と拡大
			エリア開発	• 小型店の出店による売上・利益拡大
			既存店の深化	• キッズプライズ部門の強化による差別化と収益拡大 • メダル部門への投資による差別化と収益拡大 • 「マイよくばりパス」の拡大
アセアン	 売上構成比 16%	市場拡大に伴う第二の成長ドライバー	業態開発	• 「KID'S BOX JUMBO」など市場環境に合わせた業態の開発
			エリア開発	• 新規エリアに対する出店促進
中国	 売上構成比 4%	再成長に向けた構造改革	事業整理・合理化の推進	• 不採算店舗の整理(前倒しと追加実施) • 販管コストの削減 • プレイグラウンドへの業態変更及び活性化 • 低リスクな「莫莉活力空間」への業態変更

© AEON Fantasy Co.,LTD.

夢中を育む。
Aeon Fantasy

CONTENTS

03 重点取り組み概要

1. 国内事業

© AEON Fantasy Co.,LTD.

国内業績ハイライト

2026年2月期 第2四半期(中間期)

- 売上高含め各段階利益ともに中間連結会計期間として過去最高
- 既存店売上高前年同期比106.7%と好調に推移

売上高

37,759 百万円

前年同期比	108.6%
通期進捗率	51.7%

売上総利益（店舗利益）

6,297 百万円

前年同期比	110.2%
通期進捗率	-

営業利益

3,903 百万円

前年同期比	116.5%
通期進捗率	**60.0%**

経常利益

4,058 百万円

前年同期比	128.2%
通期進捗率	**66.5%**

中間純利益

1,560 百万円

前年同期比	327.0%
通期進捗率	**70.9%**

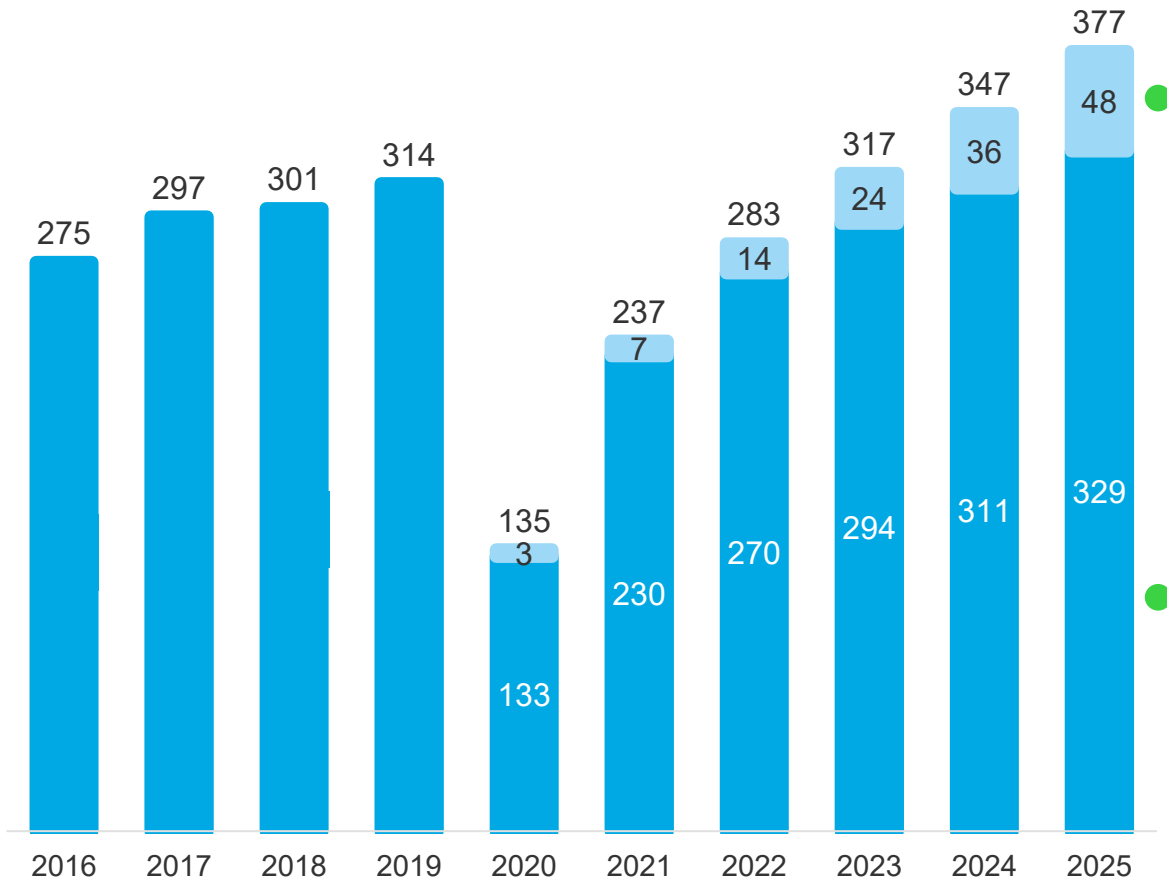
売上高	3期連続過去最高を更新
売上総利益（店舗利益）	2期連続過去最高を更新。利益率も**16.7**%と前年同期比0.3ポイント向上
営業利益	2期連続で過去最高を更新。8月末段階で通期進捗率60.0%。利益率10.3%と高水準

© AEON Fantasy Co.,LTD.

売上高推移 2026年2月期 第2四半期(中間期)

- 売上高は377億円と過去最高を更新

中間期売上高推移（単位:億円）



小型店

売上高は48億円まで成長
構成比は12.8%と全体の売上に貢献

TOYS SPOT PALO カプセル横丁
PRIZE SPOT PALO クレーン横丁
SKIDS GARDEN スキッズガーデン

大型店・標準店

売上高329億円と中間期で過去最高

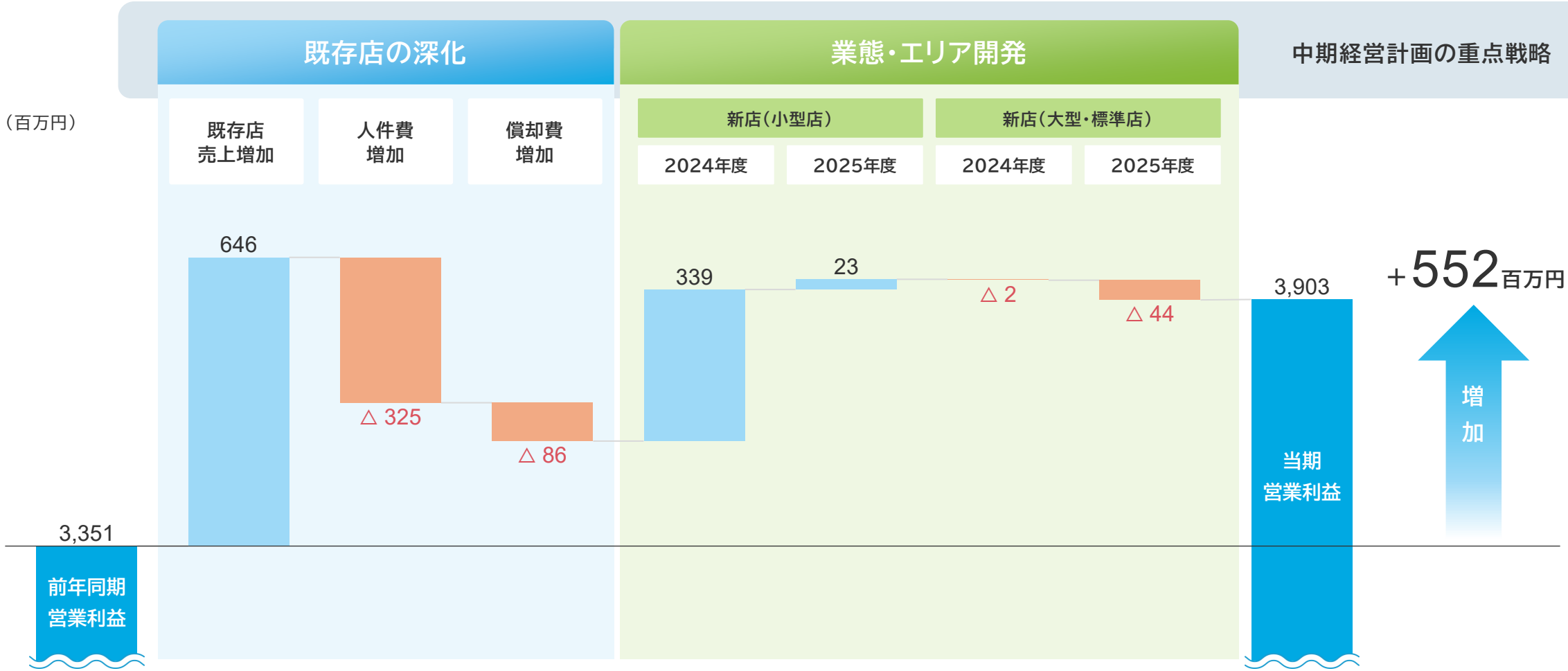
mollyfantasy
PALO
Aeon Fantasy kidzooona
Feedy Diner & Arcade
ちきゅうのにわ

© AEON Fantasy Co.,LTD.

営業利益の増減推移

2026年2月期 第2四半期(中間期)

- 既存店の売上増加、2024年度に出店した新店(小型店)の効果が大きく貢献



© AEON Fantasy Co.,LTD.

CONTENTS

03 重点取り組み概要

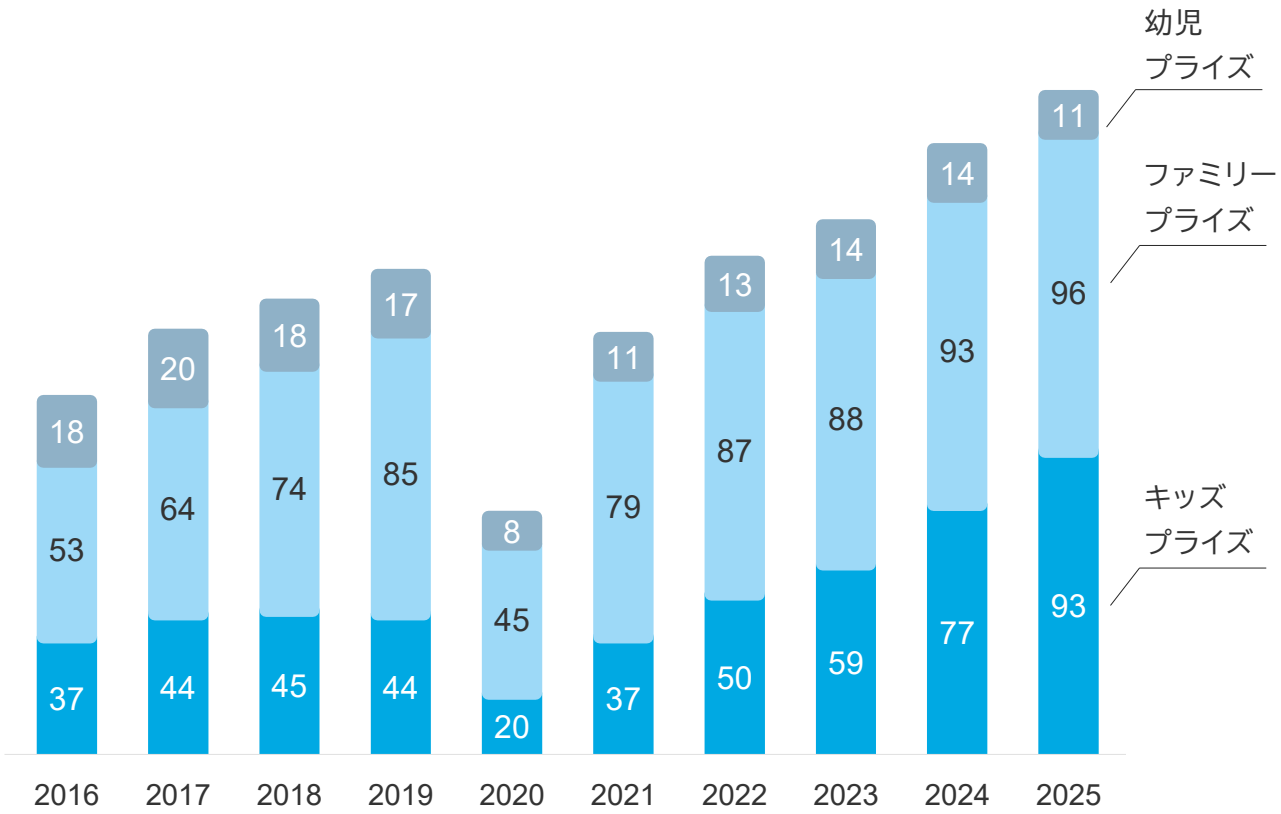
1. 国内事業

既存店の深化の取り組み

© AEON Fantasy Co.,LTD.

● トレンドに左右されないキッズプライズ部門の拡大とともにファミリープライズ部門も好調

プライズ部門中間期売上高推移　(単位:億円)



プライズ部門
売上高前年同期比
110.2%

キッズプライズ部門
売上高前年同期比
120.8%

部門売上高	プライズ機の質の改善と効率化を実施 前年同期を上回り好調を継続
キッズプライズ部門	小さなお子さまにも景品がとれやすいコーナーを更に拡大。本施策がご好評を受け部門全体を牽引
ファミリープライズ部門	限定商材(≠ME等)が幅広いお客さまから支持を受けた上、映画商材のヒットがあり引き続き売上好調

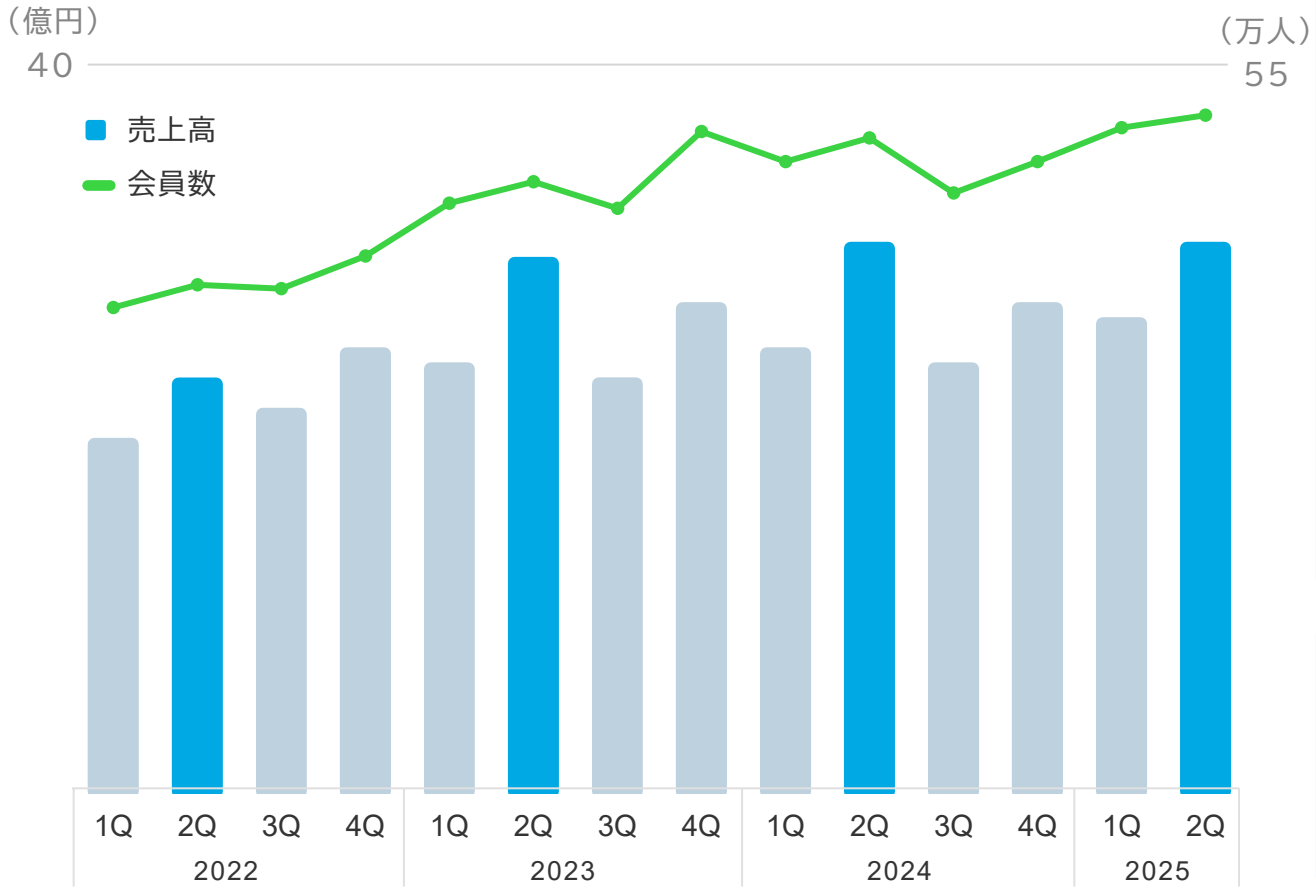
【キッズプライズ部門】
戦略的に面積を拡大している「とれやすい」ブース

【限定商材　≠ME】
公式では未発売の当社限定ぬいぐるみ系グッズがファンから好評となり売上好調

© AEON Fantasy Co.,LTD.

● 新規導入や既存機種のバージョンアップによる鮮度向上とイベント実施の継続で売上拡大

メダル部門四半期売上高・会員数推移



メダル部門
売上高前年同期比
102.5%

メダル会員数
前年同期比
103.5%

部門売上高	猛暑の影響で室内で涼しく過ごす需要が高まる中、メダルゲームで遊ぶ需要も伸びている。イベントと新規マシン導入で売上を伸張
メダル会員数	新規登録キャンペーン等様々な施策を実施。 特に効果があった施策はメダル千円千枚イベント。間口を広げ新規メダル会員増に繋げた
売場鮮度	「モノポリー THE MEDAL」150台、「パワフルプロ野球」50台導入。新規+CVT「オレカメダル2」270台導入。 また人気機種の「釣りスピリッツ」「パワフルプロ野球」をバージョンアップ

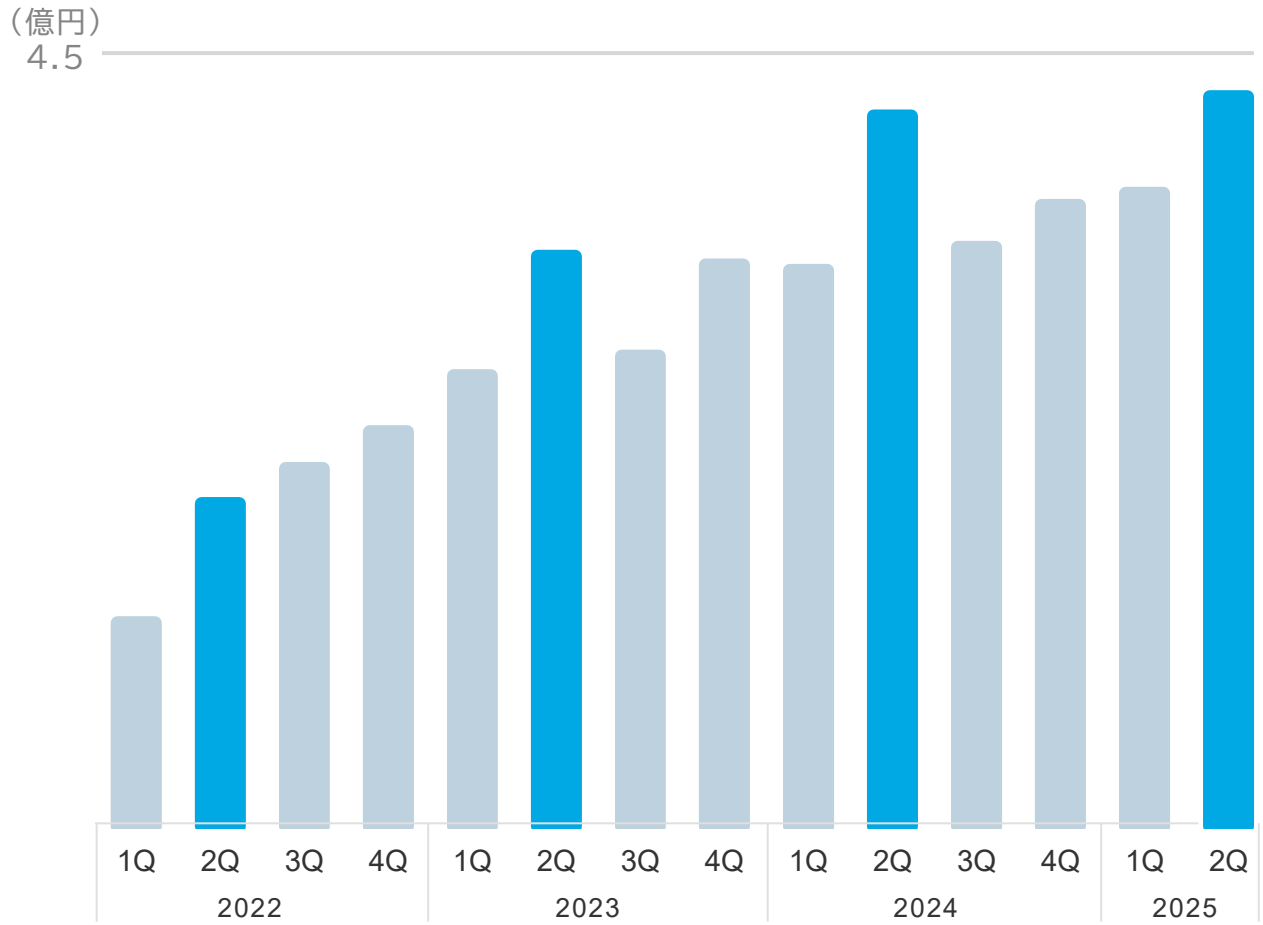
お盆期間メダル
増量イベント
販促ポスター

今期バージョンアップ
した人気機種
「釣りスピリッツ」

©Bandai Namco Experience Inc.

● 「よくばりパス」「マイよくばりパス」の強化を継続し売上高を拡大

よくばりパス四半期売上高推移　※マイよくばりパスを含む



体感部門 売上高前年同期比	よくばりパス 売上高前年同期比
113.9%	107.6%

人気機種拡大	人気機種「やってみようシリーズ」を400台、「とんでみよう！わんぱくパイロット」を100台導入
マイよくばりパス	お得にあそべる＋ポイントを貯めて好きな景品と交換できる「マイよくばりパス」を今期17店舗に導入し計29店舗に

「マイよくばりパス」は購入で溜まるポイントと景品が交換できるリデンプションサービス

「よくばりパス」利用の人気機種を追加導入

© AEON Fantasy Co.,LTD.

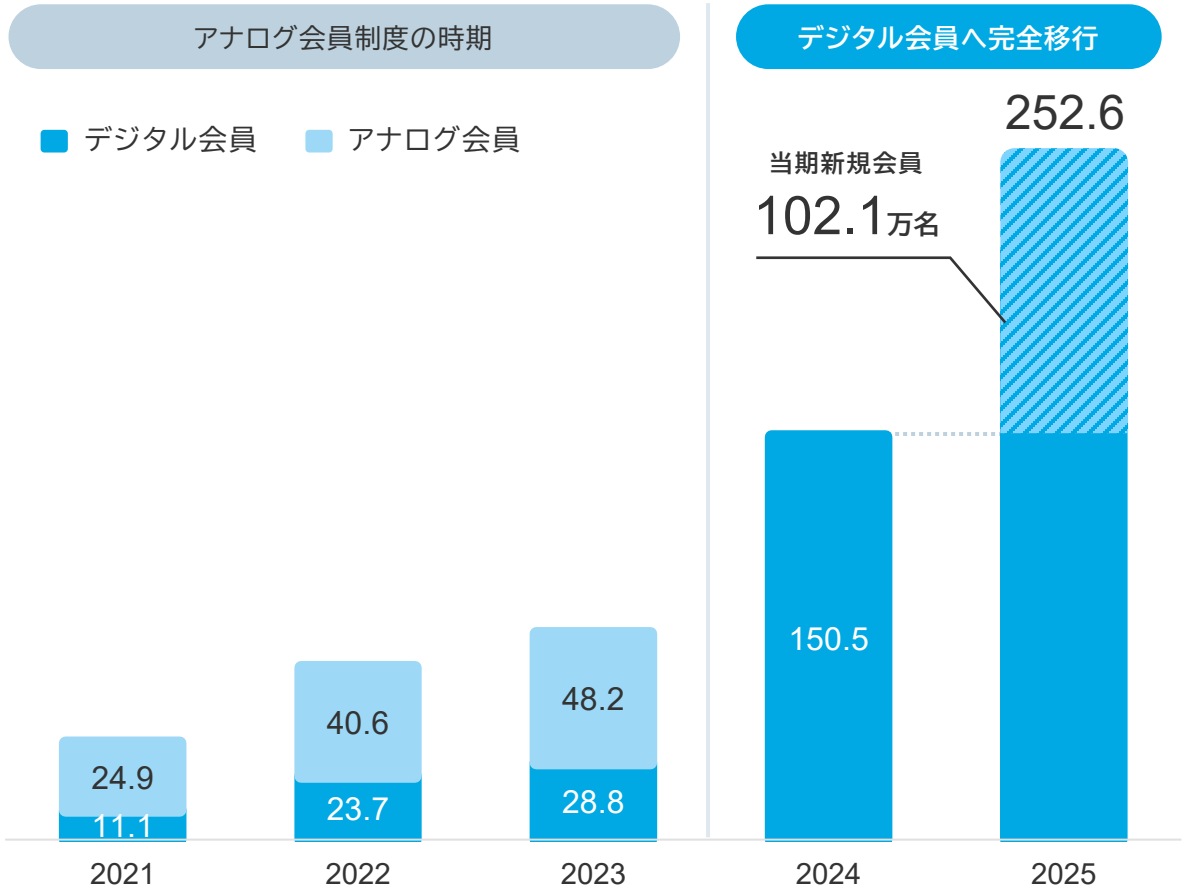
デジタル会員

2026年2月期 第2四半期(中間期)

● 店舗プロモーション活動や会員さま限定イベントの実施により会員数を拡大

デジタル会員年度別推移（単位:万人）

※2025年度のみ中間期末



デジタル会員数
前期末比
167.8%

デジタル
会員数累計
252.6万人

イオンファンタジー公式LINEアカウント	LINE公式アカウント	イベント情報やお得なクーポンを配信。8月メダル千円千枚クーポン配信時の期間中昨対比227.3%と会員獲得を牽引 会員数約 **165万人** （2025年8月末現在）
子育て応援アプリ「トットット」	TOTTOTTO	0歳からの会員制度で成長の過程に寄り添い長くサポートできるサービスを提供 会員数約 **87万人** （2025年8月末現在）

© AEON Fantasy Co.,LTD.

夢中を育む。
Aeon Fantasy

CONTENTS

03 重点取り組み概要

1. 国内事業

業態・エリア開発の取り組み

© AEON Fantasy Co.,LTD.

当期新店 2026年2月期 第2四半期(中間期)

- プレイグラウンド事業では、2つの新業態「のびっこジャンボ」3店舗、「のびっこピクニック」1店舗に加えて「ちきゅうのにわ」5店舗、「スキッズガーデン」1店舗を出店
- アミューズメント事業では、カプセルトイ専門店「TOYS SPOT PALO」35店舗、「カプセル横丁」1店舗
  プライズ専門店「PRIZE SPOT PALO」6店舗を出店

	規模	エリア	業態・屋号	当期出店数	累計
プレイグラウンド	大型店	大商圏	ちきゅうのにわ	5	13
	大型店	中小商圏	のびっこジャンボ	3	3
	大型店	中小商圏	のびっこピクニック	1	1
	小型店（預かり機能）	大商圏	スキッズガーデン	1	3
アミューズメント	小型店（カプセルトイ）	商業施設	TOYS SPOT PALO	35	238
	小型店（カプセルトイ）	商業施設・繁華街	カプセル横丁	1	5
	小型店（プライズ）	商業施設	PRIZE SPOT PALO	6	75
合計				52	

© AEON Fantasy Co.,LTD.

のびっこジャンボ

当期出店	累計	下期出店予定
3店舗	3店舗	5店舗

のびっこピクニック

当期出店	累計	下期出店予定
1店舗	1店舗	1店舗

広々飲食スペース＆持ち込みOK・途中入退出OK・保護者さまの交代OK・長時間過ごせる料金設定など
遊びやすさとコスパを追求した2つの新業態「のびっこジャンボ」「のびっこピクニック」を出店
デベロッパーのニーズに対応し柔軟な業態で今後も出店を拡大

© AEON Fantasy Co.,LTD.

ちきゅうのにわ

当期出店	累計	下期出店予定
5店舗	13店舗	6店舗

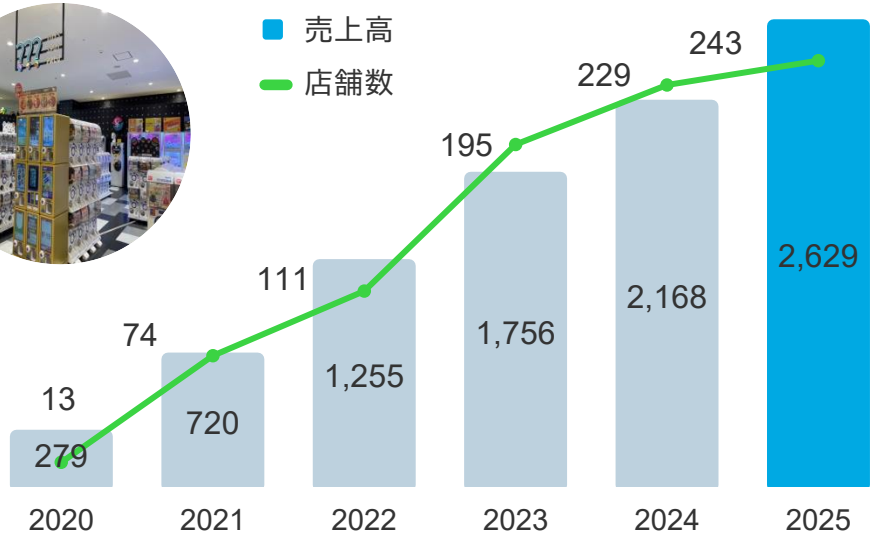
大型プレイグラウンド「ちきゅうのにわ」は、橿原店・福岡店・羽生店・港北店・幕張新都心店の5店舗を出店
宇宙飛行士監修による「宇宙のにおい」が体感できる新エリアが登場し魅力度アップ
各ショッピングモールの集客の要となるシンボリックな大型プレイグラウンド

© AEON Fantasy Co.,LTD.

当期新店 アミューズメント

カプセルトイ専門店

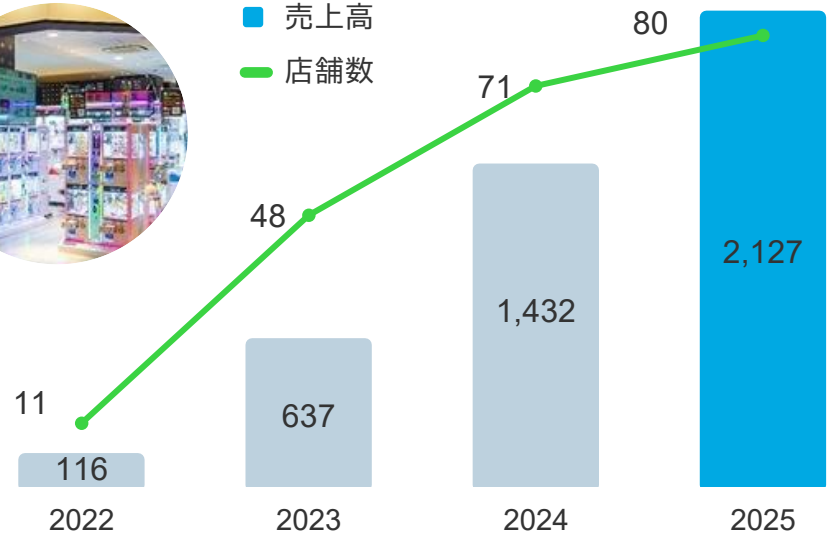
カプセルトイ専門店中間期売上高推移（単位 ： 百万円／店舗）



当期出店	累計
36店舗	243店舗

プライズ専門店

プライズ専門店中間期売上高推移（単位 ： 百万円／店舗）



当期出店	累計
6店舗	75店舗

© AEON Fantasy Co.,LTD.

夢中を育む。
Aeon Fantasy

2026年2月期第2四半期（中間期）決算補足資料

CONTENTS

03 重点取り組み概要

2. アセアン事業

© AEON Fantasy Co.,LTD.

アセアン事業　業績詳細

2026年2月期 第2四半期(中間期)

- 売上高は中間連結会計期間として4期連続で過去最高を更新
- 積極的な新店投資・一部既存店の収益低下・将来を見据えた販管費の増加により営業利益は減益するも、償却前営業利益は14百万円の増

(百万円)	インドネシア		ベトナム		フィリピン		マレーシア		タイ		アセアン事業	
	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年
売上高	1,015	1,419	651	657	1,618	1,749	2,532	2,780	571	690	6,389	7,296
売上総利益 (店舗利益)	257	163	128	113	476	388	656	579	86	72	1,606	1,317
販管費	187	195	67	86	193	202	352	374	63	76	863	936
営業利益	69	△ 32	61	26	282	185	304	205	23	△ 4	742	381
償却前営業利益	249	191	277	253	677	689	907	979	150	162	2,261	2,275
売上高 前年同期比	+20.1	+39.8	+32.5	+1.0	+15.0	+8.1	+20.1	+9.8	+16.4	+20.7	+19.6	+14.2
既存店売上高 前年同期比	△ 4.3	△ 13.1	△ 8.3	△ 1.8	△ 5.6	+0.1	+9.1	△3.7	+3.3	△4.7	+1.0	△4.0

© AEON Fantasy Co.,LTD.

アセアン事業（1/3） 2026年2月期 第2四半期(中間期)

インドネシア

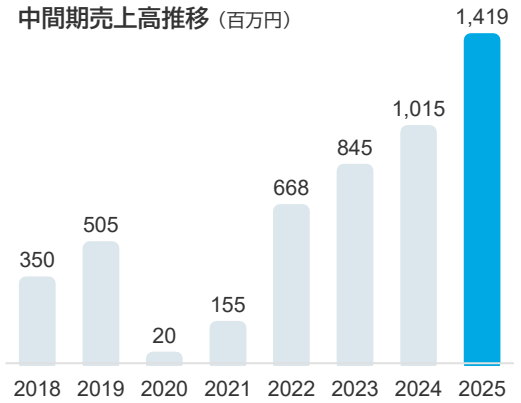
実績	
出店店舗数	38店
累計店舗数	88店

出店内訳	AM	PG
大型	-	1
標準	1	4
小型	31	1

売上高前年同期比
139.8%

業態開発	インドネシア国内初のポケモンアーケードゲーム専門店「Pokémon Mezastar Forest」31店舗を出店
エリア開発	Java(ジャワ)島中部に「KID'S BOX JUMBO」を出店し初進出。人口に対しプレイグラウンド施設が少なく売上好調
その他	店舗外観の印象を大きく変える既存店活性化を実施。店内が見渡しやすくなり来店数が増加。売上伸張に繋がる

中間期売上高推移（百万円）



活性化したプレイグラウンドの大型業態「EDOKKO」

ベトナム

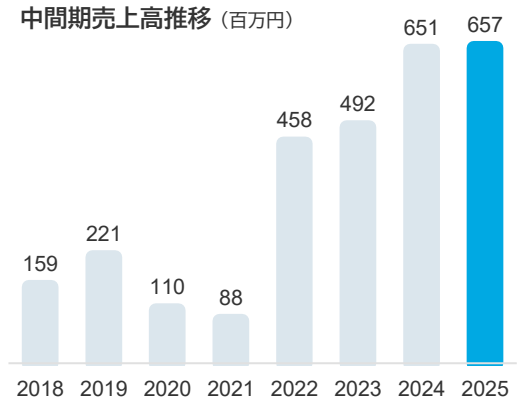
実績	
出店店舗数	2店
累計店舗数	39店

出店内訳	AM	PG
大型	-	0
標準	0	1
小型	1	0

売上高前年同期比
101.0%

業態開発	「Tiny Mollyfantasy」「kidzooona」各1店舗を出店
エリア開発	今年度、南部「メコンデルタ」に出店を計画
その他	大型プレイグラウンド「FANPEKKA」の活性化を実施。実施後の売上は112.0%と好調

中間期売上高推移（百万円）



活性化したプレイグランドの大型業態「FANPEKKA」

© AEON Fantasy Co.,LTD.

アセアン事業（2/3） 2026年2月期 第2四半期(中間期)

フィリピン

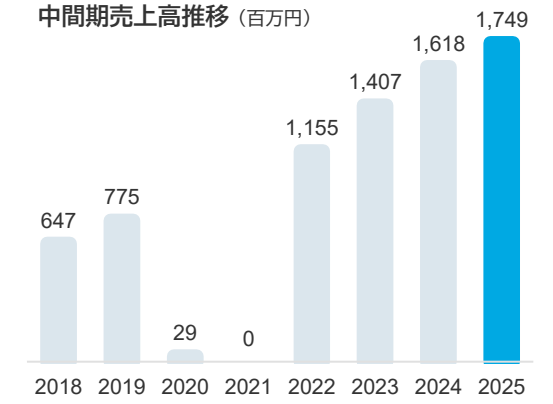
実績	
出店店舗数	6店
累計店舗数	71店

出店内訳	AM	PG
大型	-	0
標準	0	3
小型	0	3

売上高前年同期比
108.1%

業態開発	「KID'S BOX」3店舗を出店
エリア開発	ルソン島北部の重点開発都市「Ilocos(イロコス)」地域に「kidzooona」を出店し初進出
その他	プレイグラウンド業界No.1。当期7店舗の活性化を行い、実施店舗は売上伸張

中間期売上高推移（百万円）



CSR活動　普段プレイグラウンドに遊びに来る機会の少ない地域の子どもたち4,380人を招待

マレーシア

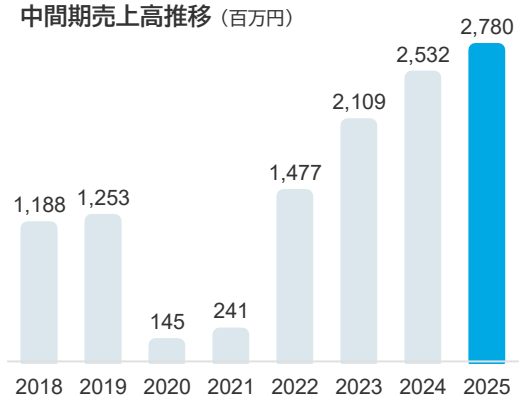
実績	
出店店舗数	9店
累計店舗数	130店

出店内訳	AM	PG
大型	-	1
標準	4	1
小型	0	3

売上高前年同期比
109.8%

業態開発	「Kidzooona Safari」マレーシア1号店を出店 「KID'S BOX JUMBO」2店舗目を出店
エリア開発	売上好調な東マレーシアの「Miri(ミリ)」地区に「Mollyfantasy」「KID'S BOX」各1店舗を出店し初進出
その他	アミューズメント業界No.1。リデンプション部門が前年同期比132%と継続して好調

中間期売上高推移（百万円）



4月にオープンした「Mollyfantasy AEON MALL IPOH(イポー) STATION 18」店

© AEON Fantasy Co.,LTD.

アセアン事業（3/3） 2026年2月期 第2四半期(中間期)

タイ

実績	
出店店舗数	9店
累計店舗数	48店

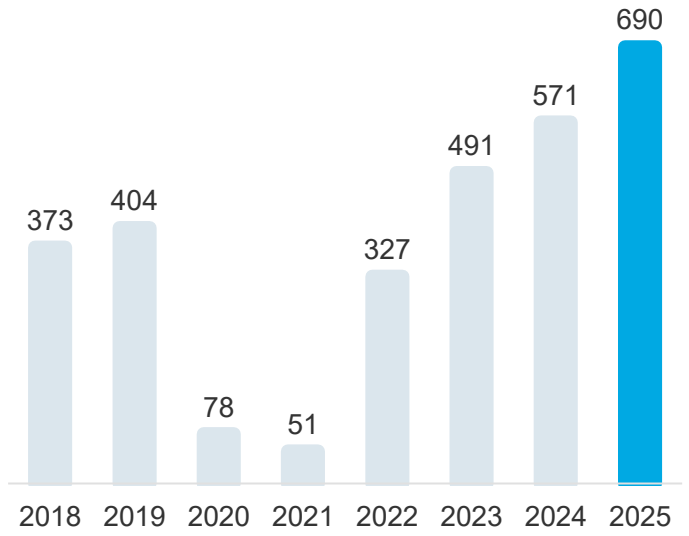
出店内訳	AM	PG
大型	-	0
標準	0	3
小型	3	3

売上高前年同期比

120.7%

業態開発	「KID'S BOX JUMBO」、「KID'S BOX」、「Tiny Mollyfantasy」各3店舗、合計9店舗を出店
エリア開発	北部の重要都市「Chiang Mai(チェンマイ)」に「KID'S BOX」を出店し初進出
その他	新規顧客の拡大の為、全店舗で近隣の幼児施設を訪問し来店を促進。約8万名のこどもたちとそのご家族が来店

中間期売上高推移（百万円）



エリア初出店となる「KID' S BOX JUMBO」パンティップチェンマイ」店

全店舗で周辺の幼稚園を訪問し来店を促す

© AEON Fantasy Co.,LTD.

夢中を育む。
Aeon Fantasy

CONTENTS

03 重点取り組み概要

3. 中国事業

© AEON Fantasy Co.,LTD.

● 構造改革が順調に進み、営業利益の赤字幅は前年より大幅に改善

(百万円)	中国	
	前年	当年
売上高	2,865	1,704
売上総利益(店舗利益)	△810	△374
販管費	412	279
営業利益	△1,222	△653
償却前営業利益	△328	△402
売上高 前年同期比	△24.8	△40.5
既存店売上高 前年同期比	△18.7	△8.5

売上高

不採算店の閉店により減少

販管費

規模縮小による本社人員の
減少等により32.3%減

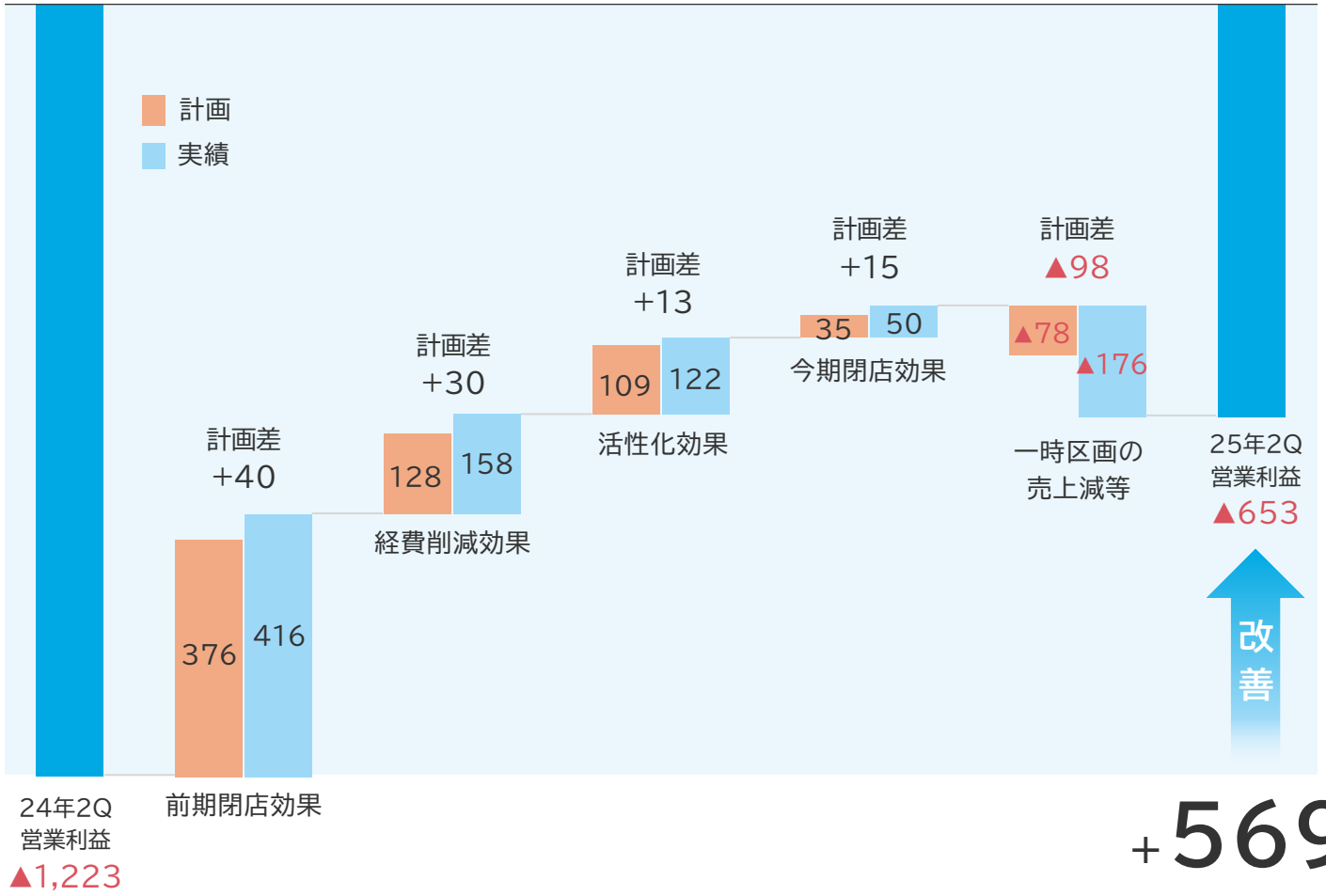
営業利益

利益改善計画通り構造改革を進め、
前年同期より5億69百万円の
大幅改善

© AEON Fantasy Co.,LTD.

● 営業利益は計画通りに進捗

2Q営業利益増減要因（単位:百万円）



利益改善計画に対する進捗状況

前期閉店効果	● 前期不採算店67店舗の閉店による効果 ● 前期末減損損失の計上による当期減価償却費の減少
経費削減効果	● 本社費用 ● 既存店の経費削減
活性化効果	● 前期活性化20店舗実施による効果 ● 当期は13店舗で実施 ● モーリーファンタジーからの業態転換で ● 出店リスクの少ない「莫莉活力空間」を拡大
今期閉店効果	● 当期閉店を計画から前倒しで進捗
一時区画の売上減等	● 一時区画の出店の遅れ ● 今期退店店舗の退店前の売上低下

© AEON Fantasy Co.,LTD.

夢中を育む。
Aeon Fantasy

CONTENTS

03 重点取り組み概要

4. サステナビリティの取り組み

© AEON Fantasy Co.,LTD.

※当社の特徴である「Social(社会)」の取り組みを先頭に表示しています

Social
社会

こどもの未来への貢献

- イオンエンターテイメント株式会社と共同で、発達・知的障がい児(者)とその家族を対象にした映画鑑賞会「あったかタイムinイオンシネマ」を開催

Environment
環境

脱炭素社会・循環型社会・生物多様性保全への取り組み

- 地球温暖化が学べるこども向けイベント「まもれ！しろくまレスキュー隊」を全国のスキッズガーデンで開催し、約1,300名の子どもが参加
- OYUGIWA浜松市野にてジョギングしながらゴミ拾い(プロギング)を実施

Governance
ガバナンス

ガバナンスへの取り組み

- 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」による資金調達を推進(当中間期3件、累計5件)
- 海外子会社役員を対象とした研修会の定期開催(コーポレート・ガバナンスの重要性と内部統制の理解)

© AEON Fantasy Co.,LTD.

夢中を育む。
Aeon Fantasy

CONTENTS

04 連結業績予想

© AEON Fantasy Co.,LTD.

連結業績予想 2026年2月期

（百万円）	2025年2月期 実績	2026年2月期 予想	前期比 増減率	前期比 増減額
売上高	87,240	92,200	5.7	+4,959
営業利益	4,344	7,300	68.0	+2,955
経常利益	3,440	5,700	65.7	+2,259
親会社株主に帰属する当期純利益	△1,816	2,500	-	+4,316
1株当たり当期純利益	△91.87円	+126.42円	-	+218.29円
1株あたり配当金	5.00円	15.00円	-	10.00円

前回（4月11日）公表数値より変更はございません

© AEON Fantasy Co.,LTD.

夢中を育む。

本資料の取り扱いについて

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として、約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

© AEON Fantasy Co.,LTD.

夢中を育む。
Aeon Fantasy

CONTENTS

05 参考資料

© AEON Fantasy Co.,LTD.

単体 業績

2026年2月期 第2四半期(中間期)

(百万円)	2025年2月期 中間期	2026年2月期 中間期	前年同期比 増減率
売上高	34,776	37,759	+8.6%
売上総利益(店舗利益)	5,717	6,297	+10.2%
販売管理費	2,366	2,394	+1.2%
営業利益	3,351	3,903	+16.5%
営業外損益	△ 186	155	-
経常利益	3,165	4,058	+28.2%
税引前純利益	1,518	2,856	+88.2%
純利益	477	1,560	+227.0%

© AEON Fantasy Co.,LTD.

単体 会計上の売上高詳細

2026年2月期 第2四半期(中間期)

(百万円)	2025年2月期 中間期		2026年2月期 中間期		前年同期比	既存店前年同期比(曜日調整後)
	実績	構成比	実績	構成比		
遊戯施設関係売上	34,592	99.5%	37,519	99.4%	108.5%	106.7%
遊戯機械	28,942	83.2%	30,989	82.1%	107.1%	105.3%
商品(物販)	5,214	15.0%	6,066	16.1%	116.3%	114.7%
委託	70	0.2%	86	0.2%	122.6%	-
その他	364	1.0%	375	1.0%	103.2%	-
その他売上高	183	0.5%	240	0.6%	130.9%	-
売上高合計	34,776	100.0%	37,759	100.0%	108.6%	106.7%

© AEON Fantasy Co.,LTD.

単体 四半期毎の業績推移

2026年2月期 第2四半期(中間期)

(百万円)	2025年2月期 第3四半期 実績	2025年2月期 第3四半期 前年同期増減率	2025年2月期 第4四半期 実績	2025年2月期 第4四半期 前年同期増減率	2026年2月期 第1四半期 実績	2026年2月期 第1四半期 前年同期増減率	2026年2月期 第2四半期 実績	2026年2月期 第2四半期 前年同期増減率
売上高	16,024	+8.0%	18,668	+4.6%	17,721	+9.6%	20,038	+7.7%
売上総利益(店舗利益)	1,984	+33.1%	3,292	△4.1%	2,578	+23.6%	3,718	+2.4%
販管費	1,243	+12.8%	1,174	+5.6%	1,232	+2.4%	1,162	0.0%
営業利益	741	+91.0%	2,117	△8.7%	1,346	+52.5%	2,556	+3.6%
営業外損益	295	△31.8%	51	△110.9%	△224	-	380	△166.0%
経常利益	1,037	+26.2%	2,066	△25.9%	1,122	△11.8%	2,936	+55.2%
税引前利益	△1,428	+48.3%	188	△116.6%	278	-	2,578	+69.2%
純利益	△1,812	+42.1%	556	△225.5%	△82	-	1,642	+79.1%

© AEON Fantasy Co.,LTD.

単体 貸借対照表

2026年2月期 第2四半期(中間期)

(百万円)	2025年2月期末		2026年2月期 第2四半期末		前期末比増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	11,468	29.0%	18,864	38.4%	+7,395
固定資産	28,060	71.0%	30,276	61.6%	+2,215
資産合計	39,528	100.0%	49,140	100.0%	+9,611
流動負債	23,168	58.6%	30,822	62.7%	+7,654
固定負債	11,247	28.5%	11,632	23.7%	+384
負債合計	34,415	87.1%	42,454	86.4%	+8,039
純資産合計	5,112	12.9%	6,685	13.6%	+1,572
負債純資産合計	39,528	100.0%	49,140	100.0%	+9,611

© AEON Fantasy Co.,LTD.

単体 部門別

2026年2月期 第2四半期(中間期)

(百万円)	2025年2月期				2026年2月期			
	第3四半期		第4四半期		第1四半期		第2四半期	
	売上高構成比	既存前年同期比	売上高構成比	既存前年同期比	売上高構成比	既存前年同期比	売上高構成比	既存前年同期比
時間制遊具	3.8	98.2	3.7	87.6	4.3	92.3	5.0	89.7
体感	4.7	99.5	4.4	96.4	5.5	115.1	5.3	113.3
カード	7.8	80.7	8.7	115.1	8.6	104.6	8.1	126.1
メダル	17.6	101.9	17.1	101.1	17.9	104.1	18.6	100.4
プライズ	55.6	111.1	56.4	108.3	54.8	107.5	54.2	106.3
シール	1.2	96.2	1.2	93.0	1.4	92.1	1.2	98.8
カプセルトイ	7.1	112.3	6.7	102.7	7.4	114.1	7.5	117.6
遊戯施設売上計	100.0	107.5	100.0	106.0	100.0	106.6	100.0	104.4

※既存前年同期比は曜日調整後の比率

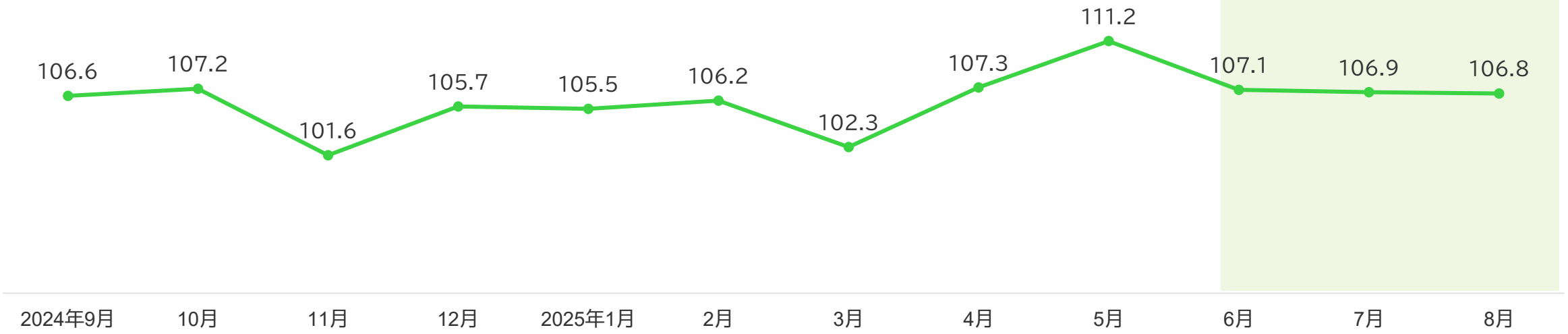
© AEON Fantasy Co.,LTD.

単体 既存店売上高前年同期比

2026年2月期 第2四半期(中間期)

	2024年				2025年							
国内計	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
前年同期比 (曜日調整後)	106.6	107.2	101.6	105.7	105.5	106.2	102.3	107.3	111.2	107.1	106.9	106.8

推移グラフ(単位:%)



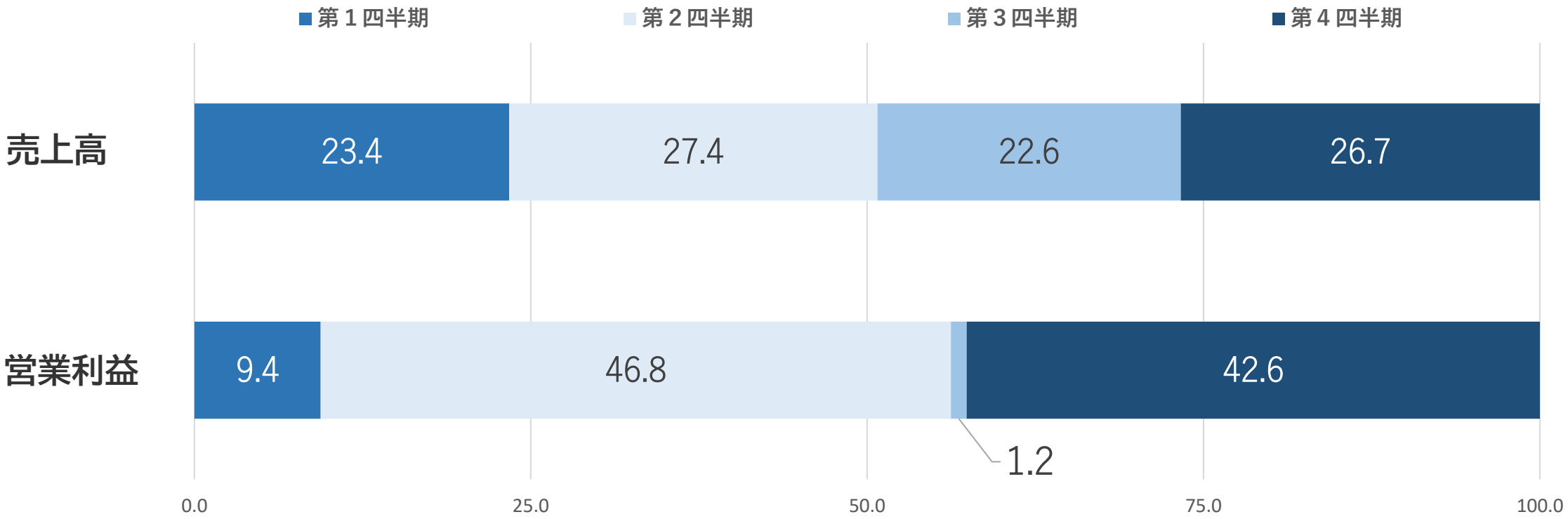
© AEON Fantasy Co.,LTD.

（参考）連結業績の四半期指数構成

2026年2月期

- 第2四半期・第4四半期の合計は、売上高約54%、営業利益率約90%を占める（2017年～2019年度平均）

2017年度～2019年度平均　四半期指数（単位：%）



© AEON Fantasy Co.,LTD.